City NEWS!

平成29年上半期
火災・救急・救助統計

問い合わせ　火災　予防課　☎254-0356　FAX256-7755
救急　消防救急課　☎254-1600　救助　消防救急課　☎254-1601　いずれも　FAX254-1607

火災 出火原因１位は「たき火」

上半期に発生した火災は72件で、昨年同時期と比較すると20件増加し、うち建物火災も15件増加しましたが、車両火災は１件減少しました。出火原因の１位は「たき火(約22%)」で、周囲の枯れ草や可燃物に燃え移った火災がたくさんありました。風の強いときは、たき火を自粛するとともに、後始末をきちんと行ってください。また、「こんろ」が原因の住宅火災が４件(住宅火災の25%)ありました。こんろを使うときはその場を離れないなど、取り扱いに十分注意しましょう。

火災概況

▲は減を示す

区　分		平成29年上半期	平成28年上半期	比較
火災件数合計(件)		72	52	20
火災種別(件)	建物火災	32	17	15
	うち住宅火災	16	11	5
	林野火災	7	1	6
	車両火災	5	6	▲ 1
	その他の火災	28	28	0
死者(人)		0	0	0
負傷者(人)		8	5	3

出火原因

単位は件、▲は減を示す

出火原因	平成29年上半期		平成28年上半期		比　較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	2	2	3	2	▲ 1	0
こんろ	6	4	4	3	2	1
炉	1	0	0	0	1	0
焼却炉	1	0	0	0	1	0
ストーブ	2	2	0	0	2	2
排気管	1	0	2	0	▲ 1	0
電気機器	4	4	0	0	4	4
電灯・電話等の配線	0	0	1	0	▲ 1	0
配線器具	0	0	3	3	▲ 3	▲ 3
火あそび	1	0	1	0	0	0
マッチ・ライター	0	0	1	0	▲ 1	0
たき火	16	0	7	0	9	0
火入れ	4	1	2	0	2	1
放火	1	1	10	1	▲ 9	0
放火の疑い	3	2	6	0	▲ 3	2
その他	5	0	6	0	▲ 1	0
不明・調査中	25	0	6	2	19	▲ 2
合　計	72	16	52	11	20	5

救急 軽症患者が全体の約半数

上半期に発生した救急出動件数は7,263件でした。事故種別では急病が4,591件と最も多く、全体の約63%を占め、次いで一般負傷が1,117件(約15%)、交通事故が591件(約８%)でした。昨年同時期と比較すると、出動件数は201件増加し、搬送人員は208人増加しました。

また、搬送人員全体の約49%(3,239人)が軽症患者でした。軽いけがや病気(擦り傷、歯痛、風邪など)の場合は、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。本当に救急車を必要としている貴い命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

救急概況

▲は減を示す

区　分		平成29年上半期	平成28年上半期	比　較
出動件数(件)		7,263	7,062	201
事故種別(件)	急病	4,591	4,473	118
	一般負傷	1,117	1,031	86
	交通事故	591	600	▲ 9
	その他	964	958	6
搬送人員(人)		6,671	6,463	208

救助 建物等による事故が増加

上半期の救助件数は68件でした。そのうち、交通事故が37件で全体の約54%を占め、次いで建物等による事故が16件、その他の事故が12件でした。昨年同時期と比較すると建物等による事故が12件増加し、多くは建物内にいるはずの高齢者が呼び掛けに応答がないといった内容でした。

気温が上昇する季節です。建物内での熱中症などに気を付けるとともに、レジャーの際の長距離運転による交通事故や、海・川での水の事故にも十分注意しましょう。

救助概況

▲は減を示す

区　分		平成29年上半期	平成28年上半期	比　較
救助件数合計(件)		68	61	7
救助種別(件)	交通事故	37	37	0
	水難事故	2	4	▲ 2
	機械による事故	1	0	1
	建物等による事故	16	4	12
	その他の事故	12	16	▲ 4